

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	資源問題担当官会議		担当部局庁	経済局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	経済安全保障課		課長 大隅 洋		
会計区分	一般会計		施策名	A-1、A-2 経済安全保障の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	資源産出国の資源ナショナリズムが台頭する中、在外の資源担当官の役割を明確化することによって我が国と資源国の一層の関係強化や各担当官の任国における資源関連情報収集の強化に努めるとともに、我が国が将来にわたって重要金属資源を安定的に確保するための外交的取組の強化に向けた体制の具体化を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	近年、低炭素社会に向けた産業構造の変化や新興国における金属鉱物資源の需要が増加し、また、生産国の資源ナショナリズムが台頭し、生産国による自国資源の国家管理の強化が顕著となってきている。金属鉱物資源確保の重要性は益々増してきており、そのため、資源ナショナリズムの動きが見られる鉱物資源国や、我が国企業が資源確保に向けてビジネスを展開あるいは展開しようとしている資源国について、各国の資源政策状況等について情報交換を行うとともに、我が国が将来にわたって重要金属資源を安定的に確保するため、具体的な外交的取組状況の検証と分析を行い、在外公館における外交活動に活かす。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	5	4	3	3	
	執行額	-	3	3				
	執行率(%)	-	64.3%	90.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	主な資源産出国をターゲットとして、国別のカントリ・プロジェクトシートを作成し、各国のニーズに対して我が国がとるべく措置を検証・分析を行う。成果実績と達成度はシート数と調査対象国との数値化。	成果実績	国数	-	14	18	10	
		達成度	%	-	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	主要資源産出国の日本大使館資源問題担当官、金属鉱物資源分野の専門家及び政府機関関係者と共に、我が国に対しての重要鉱物資源の安定供給に向けた現状と課題、且つ具体的な鉱物資源確保戦略につき議論を深めた。	活動実績	開催回数/年	-	1	1	-	
		(当初見込み)				(1)	(1)	
単位当たりコスト	3,383(千円/1回)		算出根拠	年1回開催の実績額について算出。				
平成23年度(単位:千円)予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	2,904	2,912					
	計	2,904	2,912					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>主要資源産出国19ヶ国の日本大使館の資源問題担当官を外務本省に集め、効率的かつ効果的に会議を開催することができた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
3百万円

資源国の在外公館のエネルギー担当官を集めて、各国の資源ナショナリズムの動向等について情報交換を行うとともに、我が国乃至日本企業に不利となる動きに対して如何なる働きかけを行うべきか等について、各在外公館の間で意見交換を行い、その経験をシェアして、これを本省での政策立案及び在外公館における外交活動に活かす。



【外国送金】

A.出張者
3百万円

担当官の訪日旅費を送金

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.出張者			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	航空賃等	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.3	—	—
2	出張者B	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.3	—	—
3	出張者C	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
4	出張者D	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
5	出張者E	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
6	出張者F	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
7	出張者G	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
8	出張者H	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
9	出張者I	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2	—	—
10	出張者J	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.1	—	—